



【画面右上に位置する稲佐山からの見る夜景が有名であるが、その反対側のここからの夜景も、これに負けじ、と美しい】

この日の夕刻、長崎港・東側の山際に立つホテルのロビーにいた。

ここでの催しに参加のためだが、その開始時間も迫る。

外を見やれば、山々を覆う空は宵闇へと変わり、港をゆっくりと包み込みながら夜の景色に転じようとしていた。

昼の余韻を引きずりながら、名残り惜しそうにうつろう様子は毎日の営みではあるものの、けなげであり、この冬の時期となれば何故か淋しい。

この光景は是非残しておきたかった。

そして、館内の照明が反射して入り込まないようにカメラを窓ガラスに押し付けながらやっと撮った一枚である。

今、その画面を見れば、夜のとぼりが、遠くはるかに淡く光る橋の合間からも押し寄せ、港の夜を静かに開いていた。

【参考】

世界新三大夜景

夜景観光に力を入れる自治体や民間企業が集う「夜景サミット」が 2012 年に開催され、長崎の夜景が香港、モナコと共に「世界新三大夜景」に認定されたという。

その権威のほどは別として、長崎人にとってこの美しさをもつことは大きな誇りであり、自信をもってお勧めする観光スポットである。